

ビキニデーin 高知 2024

実行委員会ニュース No.5 2024.04.26

発行「ビキニデーin 高知 2024」実行委員会〔事務局〕高知県原水協

ビキニ被災
70年企画

「ビキニデーin 高知 2024」1日目全体会の紹介

ドキュメンタリー映画「荒海に生きる」

監督 亀井文夫 編集 亀井文夫、西堀美知江、小山内治夫 解説 宮田輝

製作 株式会社日本ドキュメントフィルム 1958年製作

<内容の紹介>

○映画撮影の背景など

1954年3月1日におこなわれたアメリカの水爆実験(ブラボー)はとてつもなく大きなものであり、実験地のマーシャル諸島は勿論、日本の第五福竜丸をはじめ延1000隻(実数は約700隻)のマグロ船を被ばくさせました。広島・長崎の被ばくも呼び起こさせ、日本国内外で原水爆反対の大運動がおこったのです。そんな中日本政府とアメリカ政府は早期解決させるため1955年にアメリカからの200万ドルの見舞金で政治決着がおこなわれたのです。

日本のマグロ船は検査も無くなったということで、これまでも赤字を取り戻そうと出漁していきます。ところがアメリカはその翌年1956年から核実験をはじめているのです。1957年1月12日イギリスがアメリカの協力を得てクリスマス島で水爆実験を行うと通告をおこないました。クリスマス島周辺海域は、マーシャルを避けて漁をする漁場であったにもかかわらず。

漁民は「死の灰はごめん」「漁民は原水爆の実験台ではない」と声を上げ、高知県では1957年に「高知県クリスマス島水爆実験阻止実行委員会」(委員長 溝渕知事)が組織され大反対運動が巻き起こりました。抗議船団を現地に送るという方針も出されていましたが、5月以降運動はしぼんでいき、最終的にはその年の5月25日に第7幸鵬丸と第3良栄丸の二隻が浦賀港内で「原水爆実験即時中止」「漁民は原水爆の実験台ではない」などの文字の書かれたのぼりをはためかせながら海上デモを行い、第7幸鵬丸はクリスマス島海域に出漁して行きました。現地では署名などを海に投げ込むなどの抗議をして、7月20日に帰港しています。

ドキュメントフィルム社に問い合わせると、「この作品については資料があまり残っていないが、水爆実験があり抗議船が出るとの情報を得てカメラマンを同乗させてもらった。ただ、からぶりもあると思い、かしきとして初めて乗船する少年の成長をも撮っておこうということになったと聞いている」ということでした。アメリカやイギリスによる中部太平洋での核実験のさなかの、出漁しているマグロ船の貴重なフィルムです。お見逃し無きようお願いいたします(濱田郁夫)



1957年。核実験のさなかに撮られた貴重な幻のドキュメント映画。必見です。「荒海に生きる」を見て、二人の元船員さんが当時を振り返りながらコメントしてくれます。お見逃し無ないように。

シンポジウム「被ばくの実相 隠されてきたこと 核禁条約への道」

シンポジウムには、アメリカによる太平洋核被災問題にかかわる第一人者4人が登壇します。「ビキニ事件70年」今何が問題になっていて、核廃絶に向けて何が課題になっているのか、ここに明らかにになります。

- 高橋博子(奈良大学教授) アメリカの核開発の歴史と実態を明らかにします
 - 斎藤 紀(医師 福島医療生協) ビキニ水爆はマグロ船員の被ばくの実証をしていきます
 - 内藤雅義(弁護士 ビキニ被災船員訴訟弁護団) 裁判の意義、今何が問題になっているのか明らかにします
- ☆コーディネーター 間間元(医師 生協きたはま診療所)

5/12 2日目の分科会のレポート報告(予定)です

<第一分科会>核被災と救済・裁判

- ①原告の訴え(原告 下本節子)
- ②マーシャルとの交流と締約国会議への課題(笹島康仁)
- ③高知地裁の争点(南拓人)
- ④東京地裁の争点(内藤雅義)
- ⑤黒い雨訴訟、核被災者救済の道(高東征二)

<第二分科会> 核被災と平和運動

- ①太平洋核支援センターの活動—調査・研究・被災者支援(山下・諏訪)
- ②広島民医連平和の取り組みと継承(平井充晴)
- ③核兵器禁止条約の批准を求める土佐市市民の会(上村みちこ 片岡悦子)
- ④室戸の会の取り組み(小山求)
- ⑤第五福竜丸展示館(川口重雄)
- ⑥ビキニ事件の継承としてのまちづくり(三浦市 松本智之)

<第三分科会>核被災と平和学習

- ①静岡エバーグリーン(高島美玲)
- ②幡多高校生ゼミナールの40年の活動と平和教材づくり(上岡橋平)
- ③平和学習教育として(宮川真幸) ④紙芝居を本に(西内義人) ⑤大熊未来塾(義岡翼)
- ⑥核廃絶の取り組みをつなぐ(高垣慶太)
- ⑦福島県の震災・原発事故に関する授業の取り組み(福島高教組 船尾陽子)

「ビキニデーin 高知 2024」

5月11日(土) 会場：高知市「ソーレ」

09:00 オプションツアー 13:30 全体会 シンポジウム

5月12日(日) 会場：高知市「ソーレ」

9:30~15:00 分科会・閉会集会

◆連絡先 高知県原水協 tel/fax(088)875-3917 Email kochigensuikyoku@outlook.jp

濱田郁夫(事務局長) Email okuidamaha@kbe.biglobe.ne.jp

→申し込み受付中です。詳しくはチラシをご覧ください。

